

◆課題研究発表会が行われました

3年生最後の大きなイベント、『課題研究発表会』が1月25日に本校公益学習室で行われました。「課題研究」とは5、6人の班に分かれ研究テーマを決め、1年間かけて研究・製作を行う科目です。その成果を学科ごとに発表を行うのが『課題研究発表会』です。1・2年生も参加し、各研究の発表に真剣に聞き入っていました。また、2月3日に行われる『工業科課題研究発表会』への一つの班が学科代表として発表を行います。

研究テーマ	指導教員
フライス盤の主軸回転を利用した手元ライト発電装置の設計・製作	小山 大央
電動自在車イスの製作	五十嵐 航
回転型まと当てゲームの製作	鎌田 英人
卒業記念手形作り・シーソーキックボードの製作	大瀧 善弘
巨大マジックハンドの製作	村上 崇
ロケットストーブの製作	三浦 孝典
階段昇降台車の製作	小山 剛史



◆JIS溶接技能者評価試験 合格発表！

平成28年度のJIS溶接技能者評価試験の結果が発表されました。機械科の合格者数は以下の通りです。合計12名の生徒が新たな資格を手に入れました。

- 手溶接被覆アーク溶接 A-2F 4名(3年1名・2年2名・1年1名)
- 半自動溶接マグ溶接 SA-2F 5名(3年4名・2年1名)
- ステンレス鋼溶接 ティグ溶接 TN-F 3名(3年3名)

この資格は日本溶接協会が主催するJIS規格に基づく試験で、その合格者には、試験の種類に応じた技能を有することを証明してくれます。またこの庄内地区は溶接を主な生業とする企業が多く、溶接技能者評価試験の合格者は地元企業からも高く評価されます。

平成28年度現在、山形県でこの試験の受検を推奨している工業高校は、本校以外にはありません。東北地方全体でも稀です。本校は2年前からこの資格の受検体制を整え、平成26年に被覆アーク溶接、翌27年にはマグ溶接(半自動溶接)、そして今年はティグ溶接を加え、本校が所有する溶接機をフルに利用して、3種目の受検を推奨しています。

この試験はジュニアマイスター12点に値する難関資格の一つです。また、1年に1度(10月)しか受検機会がありません。(庄内地区の高校生については)受検のチャンスを見逃さず、どんどん挑戦しよう！

